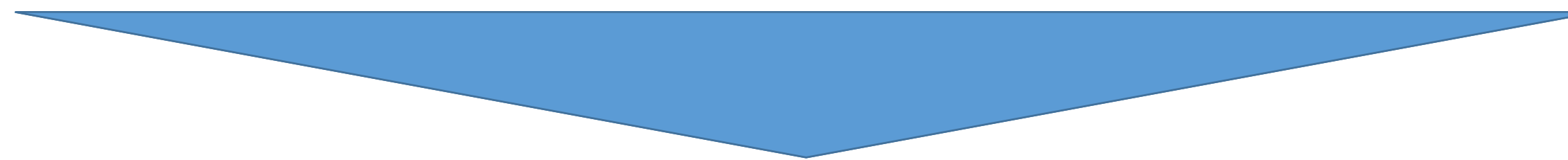


全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

| 学 力 面 | 学 習 状 況 面 |
|--|---|
| <p><成果> ○国語科では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のA(知識)問題では、正答率が全国平均より高い。 ○算数科では、「量と測定」のA(知識)問題「角の大きさ」では、正答率が全国平均よりわずかに高く、角の大きさについての単位や測定の意味を理解することができていると思われる。</p> <p><課題> ▲国語科では、以下のような課題が見られた。 ①学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができていない。 ②文の中での主語と述語、修飾と被修飾の関係に気を付けて文を組み立て、伝えたいことが伝わる文を書くことができていない。 ▲算数科では、以下のような課題が見られた。 ①小数の除法の意味(除数が1より小さい除法の意味)について理解することができていない。 ②単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することができていない。</p> | <p><成果> ○5年生の時よりも、「家で自分で計画を立てて勉強する」や「授業以外で、平日、1時間以上勉強する」の肯定率が大きく上がり、家庭での学習習慣が定着してきている児童が多い。 ○「地域の行事に参加している」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」の肯定率が全国に比べて大変高く、地域・社会への関心が高い児童が多い。</p> <p><課題> ▲毎日、同じくらいの時刻に寝たり、起きたりしている児童の割合が全国に比べてやや少ない。</p> |



| 改 善 策 学 校 で の 取 組 |
|--|
| <p>① みんなが守る学習規律 ・正しい姿勢、話し方、聞き方、机上の整理整頓など、落ち着いた学習環境になるような指導を徹底します。</p> <p>② 分かる授業づくり ・授業に、操作活動や体験活動などを取り入れることで、学習内容の理解が深まるようにします。 ・めあてをもたせて学習に取り組ませ、学習内容のまとめや学び方の振り返りをさせることで、学習内容の確実な定着と学習意欲の向上へつなげていきます。</p> <p>③ 基礎学力定着のための取組 ・県のたしかめテストやトライシートを繰り返すことで、国語や算数の基礎的学習内容の定着が図れるようにします。 ・漢字プリントや漢字テストを合格するまで繰り返し取り組ませることで、学年別配当漢字の読み書きが正確にできるように指導します。 ・読書啓発の取組を行ったり、図書室を積極的に活用したりして、読書量を増やすようにします。</p> <p>④ 算数科を研究教科とした「考える力・伝え合う力」の育成 ・算数科の校内研究において、「つなぐことで、学びを深める児童」を目指して、図や式を使って説明する活動の中で引き続き指導し、学びを確実なものにすることができるよう授業改善を進めます。</p> |
| 中 学 校 区 で の 取 組 |
| <p>・鴨方中学校区の保幼小中の連携推進委員会が作成し、各家庭に配布した「規則正しい生活リズムの確立と基本的な生活態度、家庭学習習慣の定着のための系統表」に照らして、家庭の協力を得ながら、一貫した児童、生徒の教育、指導ができるようにします。 ・鴨方中学校区の幼小中学校で、同時期に「メディアコントロール週間」を設けて取り組むことで、メディアとの適切な関わり方が意識できるようにします。 ・保幼小中の教育活動の様子を互いに参観し合うことで、授業改善を図るとともに、児童理解に役立てます。</p> |
| 家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い |
| <p>・「チャレンジカード」週間を中心に、家庭での規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けることができるよう声掛けや励ましをよろしくお願いいたします。 ・校外学習の引率ボランティアやミシン操作、調理実習などの学習支援などにご参加いただき、安全で効率のよい学習のためのご協力をお願いします。</p> |